

ー淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶんー



月刊



# ポケットあわじ



## うま え と 午にまつわる干支セトラ



VOL.282

もくじ

P1 山崎牧場 P2 神馬・河上神社天満宮 P3 乗馬 P4 9本足の馬・名馬「生月」 P5 アワジノサクラ・厩務員 浦瀬さん P6 競馬場の思い出 P7 子育て・エッセイ P8～P12 淡路文化会館・淡路県民局・淡路くにうみ協会からのお知らせ・淡路の文化活動・イベント情報

### 馬に乗ったお医者さん

獣医師 山崎 博道さん

「僕はポニーのラビー、3歳。僕がこの牧場にやってきたのは2025年5月。この牧場には、僕のほかに3頭の馬と犬と猫と鶏がいる。僕は毎日、この牧場で仲間たちと楽しく暮らしているんだ。いろんな人が来るから退屈もしないし、この場所が結構気に入ってるよ」

ラビーが暮らしているのは、五色町下堺にある獣医師の山崎博道さん(81歳)の牧場。広い敷地の真ん中には木の柵で囲まれた丸馬場があります。ポニー以外の3頭は預かり馬ですが、4頭はとても仲良し。人によく慣れているのか、近くまで行くとそっと寄ってきてくれます。大きな瞳と長いまつ毛はとても魅力的。主食は牧草で、何でもよく食べる人參も大好き。おとなしく優しい性格ですが、大きな体に似合わず臆病で、とても敏感な動物です。先生は、「人を乗せるのがとても上手やから馬に乗ると気持ちも体も元気になるよ」と教えてくれました。



トント♂17歳

洲本市五色町下堺486 TEL 0799-35-0016



山崎先生は、「馬に乗ったお医者さん」としても知られています。畜産農家が多いこの地域では先生の存在は大きく、家畜の診察だけでなく繁殖や病気の予防など多岐にわたります。馬に乗って往診に出かけるようになったのは1998年頃。「若いころ西部劇に憧れてね、自分もかっこよく馬に乗りたと思ったよ。理屈抜きに馬が好きだったなあ。困ったことといえば、出かけた時につないでいたロープが外れて馬が逃げ出し、警察沙汰になったことかなあ」と笑っていました。今では出かける機会も少し減ってきたそうです。

のどかな牧場で山崎先生に見守られ戯れる馬たち。その様子を見ただけで、心がほっこり温まります。2026年は午(うま)年。皆様の一年が何事も「うま(馬)く」いきますように！

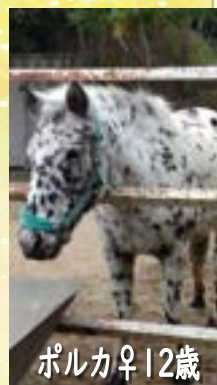
(応援隊:瀬戸 由美子)



ラビー♂3歳



ホクト♂26歳



ポルカ♀12歳





# 神馬～馬は神様の乗り物～

ポケットあわじvol.282 2026年1月号

Page 2

応援隊取材記事・伊弉諾神宮  
・河上神社天満宮



伊弉諾神宮  
本名孝至宮司

淡路國一宮 伊弉諾神宮 淡路市多賀740 TEL 0799-80-5001

## ～ 神馬に乗る祖父の思い出 ～

小学生の頃、母と伊弉諾神宮の春祭りに行った時のこと。祭りの終盤のハイライトシーンで神宮から郡家地区の浜の宮への御旅行列がありました。神官の次に厄歳の男性が担ぐ御神輿が続き、次に当時神宮に奉職していた祖父（故・木村玄貞）が馬に騎乗して続けました。馬に乗る祖父を見たのは、この時が初めてだったのでとても驚きました。ゆっくりゆっくりした馬の歩みでしたが子供心に怖くないのか？なんて心配もしました。

母曰く・・・祖父は若いころに青森の神社に奉職していた事もあり、乗馬は得意だったとのこと。明治時代の人には馬が移動手段として身近な存在だったと推察されます。

伊弉諾神宮の本名孝至宮司にお話を伺いました。昔、御旅で馬に乗っている祖父を観たことをお話したところ、今でも御旅で宮司は馬に乗りますと教えていただきました。「我々の年代の宮司は馬に乗れます。」とのこと。馬は神様の乗り物だそうです。

（応援隊：田村 弘子、米田 静子）

## 絵馬「白馬図」 河上神社天満宮



洲本市五色町鮎原南谷562 TEL 0799-32-0683



河上神社天満宮は1100年の歴史ある古社です。万物育成の神を祀る河上神社と、菅原道真を祀る天満宮の合祀社です。島内では合格祈願の神社として知られています。

今回、干支の午にちなんで絵馬について取材しました。その中でも白芝山の絵馬は、淡路で現存する唯一の絵馬です。その絵馬は184年の歳月に色褪せ、掲額・保存が困難になったので平成21年5月に淡路文化資料館に保存し、改めて安住在住の画家、前川和昭氏に依頼して、白芝山の手法を正確に表現・模写し、奉納された絵馬が拝殿にあります。

河上神社に奉納された白馬図は荒ぶる駿馬ではなく、大自然の中にあるがまま佇み清浄な雰囲気漂わせています。この馬が夜な夜な絵から抜け出し、いなくなったそうです。この事を白芝山に伝えたと「草を描くのを忘れていた」と言っはたと膝を打ち、草と綱を描き加えるとその後馬は絵から抜け出すことはなくなったそうです。

白芝山は宝暦8年（1758年）現洲本市大野の生まれで幼少時から書画に秀で、24歳で京都や東京に遊学し、動物画を得意としました。文政年間に「白馬の絵」を河上神社に奉納されました。92歳で逝去され、洲本市金屋に顕彰碑が建立されています。（参考文献・祈りの絵 淡路島の絵馬 永田誠吾著）他にも学問芸術を祈願して奉納された三歌仙図の絵馬や、江戸時代の人形浄瑠璃小林六太夫座が芸の上達を祈願して奉納した牛若丸と天狗図の絵馬などが掲額されています。

昔より人々の祈りと願いの具現であった絵馬は、今なお合格祈願の絵馬の奉納に続いています。河上神社天満宮には年間約500の絵馬が奉納されるそうです。

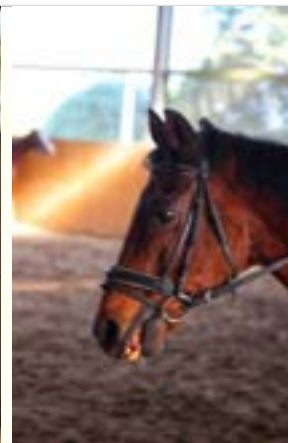
皆様の祈りが達成され平和な年でありますように祈っています。  
（応援隊：米田 静子）





## 乗馬 ハーモニーワールド

約40頭の馬がいます。



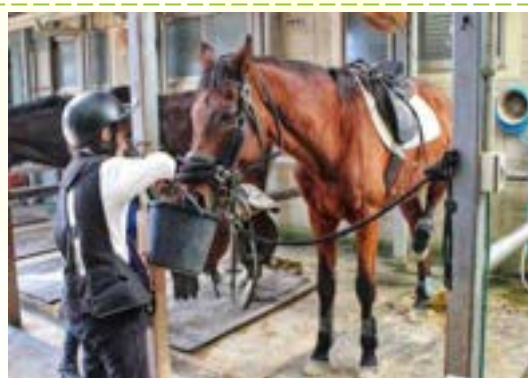
健康維持のために  
乗馬を始めました。



淡路ICを降りて県道157号線を南へ直進9分(7.1km)淡路花さじきを通り過ぎて1分の場所にハーモニーワールドはあります。旧ハーモニーファームがハーモニーワールドにリニューアルして3年、所長の松田日向さんにお会いしてきました。生涯現役が叫ばれる今、人と動物と自然の共生をテーマにヘルスケアライディングに取り組んでいます。

馬とのかかわりは、癒し、ストレス軽減、コミュニケーション能力向上、運動不足解消に最適！馬との交流は「ホースセラピー」とも呼ばれ、脳内で幸福感をもたらす「幸福ホルモン」と呼ばれるドーパミンや「愛情ホルモン」と呼ばれるオキシトシンといった脳内物質の分泌を促し、ストレスや不安、孤独感を和らげます。馬を介して人との会話が增え、他者とのコミュニケーションが活性化するなどの心理的・社会的効果をもたらします。馬への優しい声かけや世話を通じて、周囲の人にも優しく接することができるようになります。また、馬への優しい声かけや世話を通じて、周囲の人にも優しく接することができるようになります。また、馬上からの風景(目線の高さが違う、息遣いや体温のぬくもりを含む馬との対話)からの野鳥のさえずりや自然の風景を楽しむだけでも、心身のリフレッシュ効果が期待できます。

乗馬療法は姿勢制御や姿勢バランスを改善し、体幹・股関節の筋肉の対称性の改善効果があり、馬の飼育や観察、実際の乗馬を通じて、障害のある方の精神機能および運動機能を向上させ、社会復帰を早めるリハビリテーション方法の一つです。淡路島の太陽と風、潮騒と青空、森と海人馬一体、心通わせる体験、馬といっしょに風になって大地を踏みしめる喜びを噛みしめてみませんか～♪  
(応援隊：竹代 結、岡 まさよ)



外乗りは、「海泳ぎ」が一番人気！「あわじ花さじきコース」「東浦サンビーチコース、ランチ付き」「いちご狩りコース」など各種プログラムあり。







9本足の馬伝説が残る寺

# 国分寺

ポケットあわじvol.282 2026年1月号

Page 4

応援隊取材記事・国分寺  
・名馬「生月」

鎌倉時代の史書『吾妻鏡』には、淡路から献上された「9本足の馬」の記録が残されています。  
源頼朝公も驚いたこの馬は、南あわじ市八木の国分寺付近で誕生。日本最古の“異馬”伝説として語り継がれています。



©淡路国名所圖會 卷之二



九本の蹄跡が残る石

馬蹄石

蹄跡9つ見つけれられるかな？

うま く い く  
馬九行久 1年になりますように

国分寺 南あわじ市八木国分331 TEL 0799-42-4773

淡路国分寺は奈良時代に創設された歴史ある寺院です。この歴史ある国分寺に9本足の馬伝説があるのをご存知でしょうか？1193年、源頼朝公に献上されたという南あわじ市八木出身の馬は、前足5本、後ろに4本、合計9本の足があったそうです。国分寺の久保住職が見せてくださった「淡路国名所圖會 卷之二」には9本の足の馬の絵がしっかりと描かれていました。9本足の馬は鎌倉まで倍のスピードで行ったのか？バランスはちゃんととれたのだろうか？想像は膨らむばかりです。お寺の入り口を入った右手の方には、9個の蹄の跡が残されている馬蹄石の碑があり、その前には9つの蹄跡が残る石があります。応援隊も一生懸命探しましたが・・・難しかった。皆さんも9つの蹄跡を見つけに国分寺に初詣に行ってみませんか。きっと馬九行久（うまぐいく）1年になりますよ～（応援隊：川原 雅代、村上 紀代美、坂本 厚子）



## 名馬 生月 開鏡山観音寺



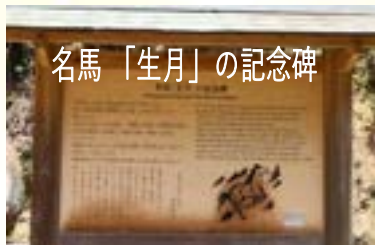
源頼朝ゆかりの名馬「生月」  
宇治川の先陣争いで佐々木高綱が乗り、  
一番乗りの栄誉を得た



開鏡山観音寺 淡路市岩屋2109



名馬「生月」は、  
開鏡 善兵衛の家に生まれた



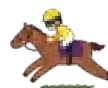
名馬「生月」の記念碑

茶間の流れの奥ふかく  
紫曇棚引く開鏡寺  
その観音の傍近く  
うぶ声あげた【生月】は  
頼朝公の御意を得て  
宇治の川瀬に名をあげた  
そのいさおしを後の世に  
つたえ置かんと里人が  
目出度く建てた記念の碑  
うたえや祝へ今日の日を  
これも岩屋の花のかず  
香りは失せぬとこしえに  
梶田 梅花の詩

名馬「生月」は、1183年源平合戦の宇治川の戦いの時、佐々木四郎高綱と「磨墨（するすみ）」に騎乗した梶原源太景季が壮烈な先陣争いを展開し、高綱が見事一番乗りの功名をたてました。殊勲の名馬「生月」こそ淡路島の開鏡善兵衛の家に生まれた3歳馬と言われています。なお、北淡路の山地は藩政時代から牛馬の放牧が盛んで、明治維新後も軍馬を産出していた歴史があります。開鏡山観音寺は、淡路西国三十三ヶ所霊場の結願所（けちがんしょ）、うち納め札所であり、本尊聖観世音は約1200年前の創設と言われています。

（応援隊：岡 まさよ）





園田・姫路・高知の  
競馬場で活躍



馬主  
角山 喜信さん

アワジノサクラ 牡

2016年生まれ 520kg

馬好きが集まるお店、福良のぐりるエイトさんで「アワジノサクラ」のゼッケンを発見。「アワジノサクラ」は地方競馬で活躍していた馬で今は引退して南あわじ市榎列掃守の馬主さんの所にいるという情報をゲットできたので、さっそく会いに行ってきました。高速バス停榎列の駐車場の上手の川沿いに馬の絵が描かれた小屋がありました。そこにいたのは優しい瞳、美しい筋肉、すらりと伸びた長い脚の美しいサラブレッド。

馬主の角山喜信さんにお話を伺いました。サクラは1才の時に角山さんのところにやってきて、2才で競走馬デビュー。園田、姫路、高知などの地方競馬場で走り、オープンクラスで勝ち進んだそうです。体重520キロ、素直な性格で6年間レースに出ていましたが、腰を痛めて引退。40年間馬主をやっていて、一番よく走ってくれた馬なので、角山さんの家族も最後までお世話をしたいと淡路に連れて帰ってきたそうです。昭和15年生まれの角山さんは、今でも4頭の競走馬の馬主さん、まだまだ張り合いがあるそうです。

(応援隊：坂本 厚子、村上 紀代美、川原 雅代)



### 競走馬の育成・調教で活躍

きゅうむいん まさよし  
厩務員 浦瀬 正慶さん



北海道で馬と出会う



競走馬の世話、健康管理  
調教補助を行う厩務員として活躍



世話をした競走馬  
「キョウエイテンマ号」が優勝

競馬にまつわる仕事といえば騎手（ジョッキー）、厩務員、調教師、装蹄師などが浮かびますが、なかなかその仕事をしている人に会うことは少ないものです。親元を離れ、遠い地で厩務員となり、活躍している人を訪ねました。浦瀬 正慶さん（44才・南あわじ市福良出身）。厩務員とは、競走馬が暮らす厩舎で競走馬の世話をする人のこと。飼料（餌）の世話、寝草の準備、競走馬の健康管理等、育成・調教まですべてを行う人のことです。現在浦瀬さんはレースに送り出す直前まで競走馬を調教するという最前線の仕事をしています。子どもの頃、ゲームやアニメで競馬の事を知り、牧場での仕事を知った正慶さん、誰もが自分の進路に迷う高校生の頃、家族で旅行した北海道で大自然に囲まれて育つ競走馬や、その仕事をする人達に出会い、自分のやりたいことを見つけたと言います。始まりはコミック「じゃじゃ馬グルーミン★UP」。心配する両親の反対を押し切り願書を書き、頼る人もいない北海道の生産・育成牧場へ。その時17才。その後2年間オーストラリアの競馬学校へ留学。帰国後は全国の牧場で厩務員として仕事をし、現在は宮城県競馬調教施設で仕事をしています。それは一日のほとんどの時間を競走馬と共に過ごす仕事。夏場は4時スタートとか。それでも子どものようなかわいい馬の仕草が魅力で、大変な仕事の疲れも癒やされるのだそうです。自分が世話をした馬がレースで活躍し、SNS等で「感動した」という投稿を見るとすごく励みになるそうです。

めったに帰省することのない正慶さんなので、お話はご両親に聞きました。細かなメモや写真をもとに彼のこれまでの歩みを振り返ってお話くださったご両親。大きなレースで活躍する馬だけでなく、引退してからの馬をも見守る厩務員になりたいという正慶さんと同じ優しさをご両親に感じました。

(応援隊：村上 紀代美、坂本 厚子、川原 雅代)





三熊山競馬場（昭和29年5月5日、提供 深田卓男氏）

大正元年（1912年）に産馬の改良増殖を計る目的に建設され、淡路の名物三熊山の競馬としてにぎわっていた。第二次世界大戦のため一時中止、昭和21年（1946年）に復活して昭和35年（1960年）まで盛んに競馬が行われていた。経済的な理由で翌年に廃止され、30有余年の永きにわたり淡路の名物として親しまれた三熊山の競馬も中止にいたった。



三熊山競馬場（提供 上村英己氏）



大浜海岸の貸馬小屋（提供 仲田賢次氏）



馬に乗る少女（昭和35年頃 提供 石原勇氏）

令和8年の干支は「午（馬）」ですね。馬というと子供のころを思い出します。私が子供のころ、我家では馬を1頭飼育していました。飼っていたのは祖父で洲本の大浜公園で観光用の「貸馬」という仕事をしていたからです。その馬は物心がついたころから祖父が「貸馬」をやめる小学校4年生までいました。

私が5才のころから馬を手放すまで馬によく乗せてもらったし、小学生になってからは日曜日や夏休みは祖父のいる大浜公園へ時々遊びに行っていました。そのころの大浜公園には「貸馬」の馬が約80頭いて、20頭が入る馬小屋が4棟建っていました。観光客が馬に乗って三熊山に登っていくのが主なコースでした。小学6年生の時です。その時は我家に馬はいませんでした。観光客の多い夏の日曜日や夏休みに知り合いの人（その人は貸馬を2頭飼っていました）からアルバイトを頼まれ、観光客を馬に乗せ、その馬について三熊山を何回も登りました。アルバイト料は1回50円でしたが、多い日は3～400円くらいになりました。小学生には大きなお金でしたね。とても懐かしい馬の思い出です。

三熊山に「競馬場」があったというのを知っている人は少なくなっているでしょうね。私の知る限りではその競馬場で年1回競馬が開催されていました。我家の馬もその競馬に出場していて、開催日には家族全員がお弁当などを持って見物に出かけていました。毎年5月5日だったと思いますが、その競馬見物がとても楽しみでした。競馬といっても1レース5～6頭の出走だったように思いますが、我家の馬はよく走り、毎年のように1等を取っていました。

（応援隊：田處 亅久）



馬で観光



三熊山競馬場跡の石碑



三熊いこいヶ丘石碑

山頂の洲本城跡から少し下ったところにある「三熊いこいヶ丘」が三熊山競馬場跡で、現在は道路や駐車場、トイレ、公園などになっています。その道路沿いに「三熊山競馬場跡」の石碑が建っており、側面には競馬場の歴史などが刻まれています。

現在の競馬場跡は、北側がアスファルト道路で東側が駐車場、南側と西側が遊歩道になっていて歩いて一周することができます。



競馬場跡の遊歩道

# 子育てポケット



11月で5歳になった兄ともうすぐ3歳になる娘、今年の4月に生まれた娘の3兄妹のママです。  
毎日が賑やかでもう今年が終わる。と年々一年が早く感じる今日この頃です。  
私自身も5人姉妹の長女であり、子育てし始めて親や家族の偉大さを身をもって感じています。  
どんな時も前を向いて笑顔で子育てする大切さを教えてくれる家族には感謝でいっぱいです。



ここ最近の子どもたちは、長男はお絵かきマイブームで想像力豊かにいろんな絵を描いています。長女は歌ったり踊ったり大好きで家では毎日ワンマンショーが開かれています(笑)次女はまだ7ヶ月ながら、ハイハイも早くなり掴まり立ちをし始めました。  
毎日子どもの成長を1番近くで見られて幸せな日々です！3人の親にしてくれてありがとう子どもたち！  
これからも自分らしく元気にすくすく育てね。

3人のママ



## ポケットエッセイ

今回書くのは  
応援隊 川原 雅代

南あわじ市健康広場あたりは「淡路競馬場」だった・・・



©淡路島今昔写真集

### 三原地区の「うま」い話

淡路島牧場の  
リアルメリーゴーランド



「淡路競馬場」南あわじ市青木の健康広場付近で、戦前と戦後の短期間だけ地方競馬が開催されていたのをご存知でしょうか？そのコースの真ん中は、なんと田んぼ。競馬開催日には、自慢の馬を連れた人があっちこっちから集まってきて、白熱したレースが展開されていたようです。走っていた競争馬は、農耕用の馬？騎手は飼い主？謎は深まります。近くには馬券所もあり、子どもも馬券を買って競馬を楽しんでいたそうです。元銀行員のお婆さんは健康広場に行くたびに当時の馬券売り場の歓声と喧騒を思い出すそうです。淡路競馬場のコースは今でも道路として残っています。上空写真やYouTubeで確認できます。

さて、「淡路競馬場」があったからか、今でも三原の人は馬好き？南あわじ市八木の「淡路島牧場」のリアルメリーゴーランドをご存知でしょうか？(正式名称ポニーのメリーゴーランド)。ジョッキー風の帽子をかぶって、ほんまもののポニーに乗ってパッカパッカとゆったりと一周まわれる夢のようなメリーゴーランド風アトラクション。うん？このメリーゴーランドって、元はクルクル回らせて牛を運動させるためのあの器械のアレンジ？淡路島牧場さんナイスアイデア♪手綱が固定されているので、安全に乗馬できるのもうれしいポイント。でも、このリアルメリーゴーランドの騎手になるには厳しい条件があるのです。もし、騎手の条件をクリアできた人、ぜひトライしてみてください。(騎手の条件：体重30kg以下、4歳以上、小学生以下)



## 美術展示企画

### 淡路文化会館からのお知らせ

淡路文化会館HP



池の上に佇む美術展示室と県民ギャラリーでは、1年を通して様々な美術展示企画を開催します。2025年度美術展示年間カレンダーは淡路文化会館のホームページでご確認ください。

写真はR7年9月「ART UNIT 蒼騎士グループ展 SHARE HORSE LIFE 2025」開催時の様子です



### 2026年1月・2月スケジュール

#### ◆十の会展

展示期間:2026/1/5～2026/1/17

展示内容:油・アクリル・テンペラ・墨・写真・立体・石を使用した彫刻など、多種の表現技法を駆使した実力派・個性派集団の作品展。

#### ◆第44回 選抜書友展

展示期間:2026/1/19～2026/1/30

展示内容:淡路島の書道芸術の発展、向上を目的とした淡路島在住者と出身者で構成される淡路書道連盟による自由作品の展示。

#### ◆令和7年度 淡路洋画セミナー修了作品展

展示期間:2026/2/8～2026/2/19

展示内容:淡路洋画セミナー受講生による作品展。セミナーで学んだことを活用し、受講生が思いのままに描く作品を是非ご覧ください。

#### ◆鳥越翔海 回顧展

展示期間:2026/2/22～2026/3/20

展示内容:淡路日本画セミナー講師の回顧展です。中学から現在までの日本画・水彩画を中心にスケッチした作品等を展示。※3/20 13:30～コンサート(ギター鳥越.他)

### 兵庫県淡路県民局からのお知らせ

#### 第48回

## 淡路くらしのひろば展

くらしの中の安心づくり

～支え合いで広がる地域の力～



日時:令和8年1月18日(日) 13:30～15:45

場所:南あわじ市市地区公民館

入場無料

講演

私、私たちの気づき・想いを未来につなぐ

～防災・減災編～

講師:人と防災未来センター 主任研究員 山崎 真梨子さん  
・兵庫県自治賞、こうのとり賞、くすのき賞、みどりの章の表彰があります。

・参加希望者は右記QRコードを読み取っていただき、必要事項をご入力の上送信してください。



参加申し込みフォーム

主催:兵庫県淡路県民局

淡路くらしのひろば展実行委員会

問合せ先:兵庫県淡路県民局県民躍動室県民課

〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5

TEL 0799-26-2043 FAX 0799-24-6934



### (一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

#### ☆2026冬咲きチューリップショーの開幕



淡路島の温暖な気候を活かし、真冬に開花させた5品種約6,500本の冬咲きチューリップを展示します。

初日のオープニングイベント(11時～)ではダンスステージを行います。また、先着200名に粗品をご用意しています。

一足早い春をお楽しみください。

■期 間 1月24日(土)～2月中旬まで

■会 場 洲本市民広場、洲本温泉のホテル、旅館等

申込・問い合わせ先:(一財)淡路島くにうみ協会  
電話:0799-24-2001 FAX:0799-25-2521  
Eメール:awajishima@kuniumi.or.jp  
ホームページ:https://www.kuniumi.or.jp



# インフォメーション



## ◆洲本市文化体育館

〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17  
☎ 0799-25-3321 ☎ 0799-25-3325  
休火曜日休館・12月29日(月)～1月3日(土)  
時 9:00～21:00

### 第4回ヴァイオリンマスタークラス Violin Master Class in Awajishima2026

ヴァイオリニスト 島田真千子氏から指導を受けた生徒らのコンサートです。

【日時】1月7日(水) 13:00～

【場所】会議室1A

【入場料等】無料

【お問合せ】

島田真千子HPメッセージから  
Instagram DMよりお問合せ下さい



### 落語体験隊 at SUMOTO

アマチュアの落語家による落語ライブ

【出演】寿亭菊町・笑角亭来福 他

【日時】1月18日(日) 開演 14:00

【場所】会議室1A-1

【入場料等】入場無料

【お問合せ】担当: 西松

☎: 078-671-3853

### 洲本市制施行20周年記念式典

洲本市制施行20周年を記念して、これまで郷土の発展のためにご尽力いただいた方々を表彰する記念式典を開催します。

【日時】1月24日(土)

【場所】文化ホール『しばえもん座』

【入場料等】入場無料

【お問合せ】洲本市企画情報部秘書広報課

☎: 0799-22-3221(代表)

### 鹿岡めぐみ&鹿岡晃紀 ニューイヤーコンサート2026

洲本第九の指導も行った、鹿岡めぐみ氏・鹿岡晃紀氏のニューイヤーコンサートが開催されます。

【日時】1月25日(日)

開場 13:30 開演 14:00

【場所】文化ホール『しばえもん座』

【入場料等】チケット1,000円(全席指定)  
3歳以上入場可

※2歳以下はお問合せ下さい

【チケット予約・お問合せ】

☎: saiunt-sm2025@gmail.com

## ◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

〒656-0314  
南あわじ市松帆西路1137-1  
☎ 0799-36-2314 ☎ 0799-36-5408

### 春季特別展「珉平焼からタイルへ ー南あわじの近代化遺産ー」

江戸時代後期に伊賀野村で開窯した珉平焼。その成立から日本初の本格的タイル生産の発展までを南あわじの重要な近代化遺産として位置づけ、歴史とともに人々を魅了してきた作品や製品を展示。



【日時】1月10日(土)～6月7日(日)  
9:00～17:00

(入館は16:30まで)

【休館日】月曜休館

(月曜日が祝日の場合は翌平日  
・年始は1月9日まで)

【入館料】

大人500円 高大生 300円

小中生 150円

※小中生は「ココロンカード」「のびのびパスポート」利用可、入館無料

### 同時開催:「Ride the Train ～思い出の淡路鉄道～」

かつて島民の生活を支えた淡路鉄道。大正11年の開業から昭和41年の廃線までの足跡や当時の駅舎の姿と現在の様子を写真パネルと資料でご紹介。



画像提供: 淡路交通(株)

## ◆淡路人形座公演案内

### 1月公演案内

～受け継がれる淡路人形  
五百年の歴史がここにある～

2日(金)～13日(火)

10:00～/11:00～/13:00～

14:00～/15:00～

「寿ぎ我にとほざえびす」

※所要時間: 15分

料金 大人(中高生含む): 1,000円

小学生: 500円

15日(木)～31日(土)

10:00～/15:00～

「バックステージツアー」

「人形解説」「戎舞」

15日(木)～31日(土)

11:10～/13:30～

「ゆるっと人形浄瑠璃」

※太夫・三味線・人形の解説と人形浄瑠璃「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」のセット

※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

【料金】

大人1,800円/中高生1,300円

小学生1,000円/幼児無料

【定時公演】

10:00/11:10/13:30/15:00

【正月行事】

2(金) 8:00 開始

さんばそうほうのう

「三番叟奉納」

場所: 南あわじ市市三糸八幡神社

※近隣駐車場なし

おみどりうえびすしや

南あわじ市にある大御堂戎社にて三番叟の奉納をいたします。

一般の方も観覧いただけますのでぜひお立ち寄りくださいませ。

【1月の休館日】

1日(木)/7日(水)/14日(水)/21日(水)  
28日(水)

【お問い合わせ】 淡路人形座

〒656-0501

兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先  
淡路人形浄瑠璃館内

☎ 0799-52-0260

☎ 0799-52-3072





# インフォメーション

## ◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館

〒656-2306 淡路市夢舞台4  
☎0799-74-1200  
☎0799-74-1201  
🕒10:00~18:00(最終受付17:30)  
※休館日: 1月8日(木)

廣田農園  
ーカレンデュラティー、石鹼、  
オイルなど大集合！

### 【開催期間】

1月10日(土)、1月12日(月祝)

### 【入館料】

一般 1000円 70才以上 500円

※生年月日記載の証明書提示必要。

高校生以下 無料

## 計画停電に伴う休館のご案内

2026年1月13日(火)~22日(木)まで  
淡路夢舞台電力供給を支える「特別高圧  
受変電設備」の更新のため、あわじグ  
リーン館は休館いたします。

### 【淡路夢舞台地下駐車場休業】

1月15日(木)19:00~16日(金)6:00

## 特別展 オーキッドフェスティバル2026

### 【開催期間】

1月31日(土)~3月8日(日)

### 【入館料】

一般 1500円 70才以上 750円

※生年月日記載の証明書提示必要。

高校生以下 無料

## ◆淡路島国営明石海峡公園

淡路島 国営明石海峡公園  
〒656-2306 淡路市夢舞台8-10  
☎0799-72-2000 ☎0799-72-2100

## あわじオフェスティバル

【日時】12月6日(土)~1月12日(月祝)  
9:30~16:00

【場所】ビジター棟ほか

【内容】恐竜の化石レプリカなどの展示  
や体験イベントがいっぱい！詳  
しくは、ホームページをチェッ  
クしてください。

【休園】12月31日、1月1日

【参加費】イベントにより異なる

※別途入園料、駐車料金必要

## ユニバーサル巨大迷路

【日時】1月2日(金)~6日(火)  
10日(土)~12日(月祝)  
17日(土)・18日(日)  
24日(土)・25日(日)・31日(土)  
10:00~15:45  
(最終入場15:30)

【場所】芝生広場

【内容】昨年よりバージョンアップした  
巨大迷路にチャレンジだ！

【参加費】無料

※別途入園料、駐車料金必要

## 季節のクラフトあそび冬 お絵かき風

### 【日時】

1月2日(金)~6日(火)  
10(土)・11日(日)・12日(月祝)

【受付】10:00~15:00

【場所】ビジター棟1階

【内容】風が好き絵を描いて、芝生広  
場で風あげ体験

【参加費】250円

※別途入園料、駐車料金必要

## ◆淡路市立しづかホール

### しづか少年少女合唱団

新しいお友達を募集しています。  
みんなでたのしく歌いましょう！

※初回体験無料

【開催日】1月24日、31日  
(月2回/土曜日)

【時間】14:00~15:30

【対象】小学生以上

【月謝】1,000円/月

【場所】しづかホール リハーサル室

### 篠笛教室

日本古来の文化、大自然や生活と深く  
結びついた楽器を奏でて、音を楽しみ  
ます。また想像したものを形にして創  
造していく中で、自身を開放し表現で  
きる力を育みます。ゆっくり基礎から  
学べます。

※初回体験500円 随時生徒募集中

【講師】嶋本かおり

【開催日時】1月15日(木)ほか  
(月2回/木曜日)  
18:00~19:30

【場所】しづかホール リハーサル室

【料金】1,500円(1回)

※詳しくはホームページをご覧ください

【申し込み・問い合わせ】

淡路市立しづかホール

休館日: 火曜日

☎: 0799-62-2001

e-mail: [info-x@shizukahall.com](mailto:info-x@shizukahall.com)

ホームページ: <http://shizukahall.com/>

## 編集・だ・よ・り

あけまして、おめでとうございます！皆さんの1年  
が良い年となりますように。

私の正月の楽しみは、刺身を食べることです。正月  
が近づいてくると、ほぼ毎日のように刺身のことを考  
えています。雑煮も大好きです。白みそ派です。

基本的に食べることしか考えていません(笑) そんな  
正月もいいですね。 《淡路文化会館 谷 菜祐》

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に  
3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施  
設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞とし  
て、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願  
いします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしていま  
す。

なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載してい  
ますので、こちらも是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600

☎0799-85-1391 ☎0799-85-0400

E-mail: [info-awabun@farm-group.com](mailto:info-awabun@farm-group.com)

H P: <https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>

私たちはポケットあわじを応援します。





# 淡路島に お住まいの方 大募集!



生活創造しんぶん「ポケットあわじ」で  
淡路島の情報発信活動に参加してみませんか?

## ボランティア

### 生活創造しんぶん「ポケットあわじ」製作 淡路生活創造応援隊

淡路島の魅力を紹介する生活創造しんぶん「ポケットあわじ」の企画、取材、原稿作成、編集、配布などを通じて、地域を元気にする活動にご参加いただけます。

#### ●活動内容

地域に密着した情報誌として親しまれている「ポケットあわじ」の制作や発行に関する活動です。

- ・企画(特集やテーマ、取材先の選定)。
- ・取材活動、撮影、確認、校正。
- ・配布活動。

#### ●活動日時・場所

毎月第3または第4木曜日の編集会議を実施。  
※原則として午後2～3時間程度、島内各地在住の応援隊スタッフが集まって、楽しく賑やかに情報や意見を交換する場となっています。

※取材や記事作成などは各自で活動となります。

【編集会議場所】兵庫県立淡路文化会館

#### ●募集対象

淡路島内在住で、地域の情報発信にご興味のある方。  
地域情報誌の制作や編集に、関心のある方。

※地域各所へ配布活動のみのご参加も大歓迎!



## 掲載記事

「ポケットあわじ」で  
あなたの日常を  
紹介しませんか?



### 子育てポケット

淡路島で育っていく子供たちの日常や、楽しかったこと、嬉しいこと、ちょっと困ったこと、日々の発見など、写真と一緒に大切なお子様に向けた想いを教えてください。

### ポケットエッセイ

あなたの旅の思い出や、忘れられない出来事、人との出会いなど、日常でふと感じたこと考えたこと、ちょっと面白エピソード、いろいろなことを教えてください。



## お申込み・お問い合わせ

### 兵庫県立淡路文化会館

〒656-1521 兵庫県淡路市多賀 600  
TEL. 0799-85-1391 FAX. 0799-85-0400

メール: info-awabun@farm-group.com 担当: 谷



予約不要  
単発受講  
500円

**淡路文化会館**

**いざなぎ学園  
通年講座**

**水 10:00~11:45**  
**年30回開催**

☎ 0799-85-1391



淡路文化会館  
awaji-bunka-kaihen

**教養・健康・芸術・文化・趣味  
学びたいテーマを、気軽にワンコイン**

**R8年1月・2月の単発受講可能講座**

1/7(水)「笑う門には 健康来たる！」  
～2026年も明るく～ (交遊亭笑笑氏)

1/21(水)「防災講習」～安全安心の暮らし～  
(淡路広域消防事務組合)

1/28(水)「自然とつながる野鳥観察」  
～淡路に春の訪れを告げる鳥たち～ (五百蔵聡氏)

2/4(水) 脳トレ「自由を決定づけない数学の  
証明能力の限界に迫る」(喜田勝氏)

\*予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



気になるセミナー、  
ちょっと見てみませんか？

セミナー見学会！お気軽にどうぞ！

**セミナー見学会 日程表**

セミナー名	日 程	時 間	場 所
詩 吟	1月9日(金)	13:30～15:00	スペース101
舞 踊	1月22日(木)	10:00～11:30	多目的スペース
健康食	1月28日(水)	10:30～12:00	調理教室

※事前のお申込みは不要です。